

中学生の「税についての作文」

大川三猪法人会 会長賞

「未来への投資」

大川市立大川桐薫中学校

三年 岡 奈 瑠

「税の必要性」を考えた。

租税教室などで教わる町のための、税の「良い使われ方」。それはもう十分分かっていて。道路が綺麗なもの、すぐ対応してくれる消防や警察がいるのも医療の充実も税のおかげ。分かっているのに、なぜだろう。本当に全ての税が良く使われているのかと、疑ってしまう私がいる。

ニュースなどで耳にする、政治家などの、自分たちの裕福な生活のために税を使う行為。それは見逃していいものなのだろうか。国民から集められる税金は、果たして全て町のため、社会のために使われているのだろうか。疑問に思う点多すぎる、不透明な今の経済社会。私たちは何を指したら良いのかと、その「不透明」の改善策を考えたり、調べたりした。「透明性の向上」。もう答えはインターネットに、世間に出ていた。出ているはずなのに、それもまたどこか漠然としている。だから私は、このスローガンについてもっと知り、なにか解決のヒントとつかもうとした。でも調べていくにつれ分かってきた。透明性の向上は、スローガンだけで終わりがねないようだ。私は勝手に解決を期待して、気持ちの沈み

様を身にしみて感じてしまった。だが逆に私は、今後に期待したくもなかった。将来を担っていくのは、私たちだ。そこへの責任は忘れない。だがその中で、政治家の人たちは、私のように税の悪い使われ方も考える人たちが、安心して税を納め、税を納めることに納得できる社会をつくることはできるのだろうか。義務である以上税は納める。良い使われ方は知っているから。ただ私は知りたいのだ。透明性の向上の糸口を。

では税を納める側としてはどうだろうか。私の生活に一番関わりがあるのは、消費税である。消費税は、三%から始まり、五%、八%、そして十%と、上がり続けている。この上がり方をみれば、現在の消費税は高いと思われるがかもしれない。だが私はこれが高いとは思えない。世界には消費税二十%をこえる国も少なくないのだから。そのような国は福祉医療が充実しているらしい。税金が高いのには、それなりの理由があるようだ。それならば、税が上がっていく事は、嫌な面もあるだろうけど、将来的には良いのかもしれない。ただ、その「税」に、私たちがどう向き合っていくかだと思うのだ。

私は、「税の必要性」を考えた。きっとそれは、人々の安心と、未来への投資なのだろう。だからこそ、その税が無駄にならないように使ってほしいと思う。私たちは国に、税に守られていると信じているから。